

自治 温故創新
考える
思いやる
やりぬく

まごころ

学校便り 5月号
令和4年5月9日
西東京市立田無第三中学校

薫風吹く 生徒総会・全校朝礼

校長 東山 信彦



GWのただ中、5月6日の午後、体育館で生徒総会が行われました。みどりの風が通りすぎるよう、開け放たれた体育館の窓際に座って、生徒総会の様子を見守りました。

冒頭にあいさつする機会があったので、壇上の代表生徒に向けてまず、「生徒による生徒のための組織が生徒会であり、その代表として過ごしやすい三中を創るために、がんばってほしい。」そして、会場の生徒に向けては、「クラスで各専門委員に一番ふさわしい人を選び、送り出し

ているはず。その人たちが力を発揮できるようバックアップに力を尽くそう」と話しました。全校生徒が椅子に座っているせいもあるのですが、朝礼とは違う、改まった雰囲気の中で、委員長の活動方針や、質疑応答が進んでいきました。オンラインとは違う臨場感が心地よく、まさに「The 生徒総会」という感じでした。ことに、生徒会長の挨拶は、生徒の手で新しい三中に挑戦していこうとする意志が、ノー原稿で語る言葉にこもっていて、これまた「The 生徒会長」という感じで、その後の生徒総会の雰囲気を引き出した、総会の場にふさわしいものでした。

各委員会の活動方針が承認された後、各クラスの学級目標の発表がありました。それぞれに、各クラスの願い・思いが、キャッチコピーやあいうえお作文で表現されたり、ずばり一文で表現されたりしていました。このクラス目標と、5月末に行われる運動会に向けて制作されるクラス旗のもと、すばらしい思い出を創ってほしいです。



GW明け5月9日の全校朝礼では、5月28日(土)に実施される、「60周年記念運動会」に向けての、実行委員長の挨拶と、各クラスの実行委員の紹介がありました。居並ぶ委員が一人一人実行委員長から紹介され、大きな声で返事をしていくシーンは、これもオンラインとは違う臨場感・高揚感がありました。今年は、三中の広い校庭の利を生かして、三年ぶりの全校運動会を計画しています。どの学年にとっても、初めての「大運動会」となりますので、まさに60周年キャッチコピー「温故創新」どおり、新しい三中運動会を創る意気込みで準備を進めていきます。今も、体育の授業が校庭で行われていますが、ランニングの声もひときわ大きくなったように感じます。その意気やよし。運動会とはいえ、身体を鍛えるだけの取り組みではありません。頭も、心も、運動会に向けて鍛えていきます。(保護者の皆様にも、運動会当日、生徒の「ハレの場」を見ていただきたいと計画中です。《各ご家庭での参観上限数については、まだ未定です。》)

